

## 松江城天守創建時祈祷札・大手門復元資料収集懸賞事業実施要項

### 1 目的

『国際文化観光都市』松江市のシンボルである松江城は、江戸時代初期に造営された天守が今日に残されており、我が国の現存12天守のひとつである。

また、天守以外の建造物は明治時代の廃城令により取り壊されたが、平成9年から平成12年にかけて南櫓、中櫓、太鼓櫓を復元するなど徐々に整備を行ってきた。

現在松江市では、松江開府から400年を迎えることを契機として、市民と行政が一体となり松江城天守の国宝化を目指す運動を進めている。

そこで、松江城天守の新たな文化財的価値を実証すること、また、国宝化へ向けた機運を更に高めることを目的として、天守創建時祈祷札と大手門復元資料にそれぞれ500万円の懸賞金をかけて募集する。

### 2 募集期間

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

ただし、完全なものが見つかった場合は、その時点において募集を終了する。

### 3 実施機関

松江市

### 4 懸賞金対象資料

(1)故城戸久氏論文『松江城天守』（昭和41年4月30日毎日新聞社刊「仏教芸術第60号」に掲載）に記載のある松江城天守祈祷札（以下「天守創建時祈祷札」という。）。

(2)明治時代に取り壊された松江城大手門の復元の根拠となる古写真や設計図（以下「大手門復元資料」という。）。

### 5 懸賞金対象者

懸賞金対象資料の提供者

### 6 審査会の設置

提供された懸賞金対象資料の価値を調査・検討するため、専門家による「審査会」を設置する。

### 7 懸賞金基準

(1)天守創建時祈祷札

①天守創建時祈祷札として審査会が認めたもの……500万円

②天守創建時祈祷札ではないが、松江城天守の新たな文化財的価値を実証する歴史資料として審査会が認めたもの……審査のうえ決定

(2)大手門復元資料

①大手門復元資料として審査会が認めたもの……500万円

②大手門復元資料として使用できないが、歴史的に価値がある資料として審査会が認めたもの……審査のうえ決定

### 8 資料の帰属

懸賞金の対象となった資料は、松江市に帰属するものとする。

### 9 問い合わせ先

松江市観光振興部観光施設課松江城国宝化推進室 TEL : 0852-55-5594